

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	チーム医療普及推進事業	担当部局庁	医政局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～	担当課室	医事課	課長:田原克志				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	・「チーム医療の推進について」(平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会取りまとめ)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	質の高いチーム医療の実践を全国の医療現場に普及定着させ、看護師、薬剤師等医療関係職種の業務の効率化・負担軽減等を図るとともに、質の高い医療サービスを実現する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年度の「チーム医療実証事業」において効果的な取組を実施した医療機関(20施設程度)を選定し、当該医療機関の協力を得て、地域の医療機関職員等を対象としたチーム医療の実践に係るワークショップを開催する。 (委託先) 医療機関							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算					106	
		補正予算						
		繰越し等						
		計						
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	医療施設従事医師数 平成16年:256,668人、平成18年:263,540人 (102.7%) ※医師・歯科医師・薬剤師調査より(2年ごと)		成果実績	人	271,897	—	集計中	前回調査以上
			達成度	%	103.2	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	事業実施施設		活動実績 (当初見込み)	施設数	—	—	—	( — ) ( — )
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	チーム医療普及推進事業委託費	0	106	平成24年度新規要求事業				
計	0	106						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成24年度新規要求事業		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、安全で質の高い医療を実現するため、各医療関係職種の専門性を高め、それぞれの役割を拡大し、各職種が互いに連携して医療を提供する「チーム医療」を普及推進していくものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高く、予算要求内容も適当である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					